英語曲をそれっぽく歌ってみましょう

日本の英語教育では読み書き、文法を重視しているせいでせっかく英語の基礎を学んでいて、理解しているにもかかわらず、会話コミュニケーションの場数を踏んでいないため、英語を話すことにアレルギーを感じる日本人がとても多いと思います。
日本語にない発音をいわゆる「カタカナ英語」として学校で教育を受けたがために、ちゃんとした発音で英語を話すことを恥ずかしいと感じている人は少なくないのではないでしょうか？

英語曲を歌いたいボーカリストはとても多いと思いますが、英語の発音や単語の連なりを正確に再現できないと思い込んでしまって英語曲を躊躇するのはもったいないことです。
そこで、ちょっとしたテクニックを学ぶことで、英語曲をそれっぽく歌ってみようという試みを企画してみました。

英語曲を歌う上で一番重要なことは、正しい発音を恥ずかしがらずに
思いっきりイキって外国人になりきることです！

1. 日本語にない発音の練習
   - ✓ R と L の違い
   - ✓ TH の発音（The, Think, Though, Through, They…）
   - ✓ リエゾン（単語・音節の連なり）
   - ✓ S・F・Z・M・N
2. リエゾン（単語・音節の連なり）

課題曲：”Material Girl” by Madonna
(https://www.youtube.com/watch?v=hMGdGTwNWLw)

Madonna の英語発音は教科書のような美しい発音で、英語曲を初めて歌う人には「聞こえたまま」真似たらネイティブが歌っているように聞こえます。Material Girl の一番を練習してみましょう。

Some boys kiss me, some boys hug me
I think they're okay
If they don't give me proper credit, I just walk away
They can beg and they can plead
But they can't see the light, (that's right)
'Cause the boy with the cold hard cash is always Mister Right

[Chorus]
‘Cause we are living in a material world
And I am a material girl
You know that we are living in a material world
And I am a material girl

- ✓ 学校で学んだ英語は忘れて、聞こえたままカタカナっぽい英語でいいので歌ってみましょう
- ✓ Madonna がブレス入れているところに v を書いてみましょう

では実際にみんなの前で歌いましょう！